

Profile



ドミトリー・テテリン (ピアノ)
Дмитрий Тетерин

1971年モスクワに生まれる。モスクワ音楽院中央特別音楽学校を経て、モスクワ音楽院へ進み、マリーニンやオシボヴァに師事する。卒業後モスクワ音楽院大学院に進み、ナセトキンに師事し修士号を取得する。数々の国際コンクールで上位入賞を果たした後、ストラスブルグ国際コンクール(フランス)、パルマ・オシ国際コンクール(フランス)、シンシナティ国際コンクール(アメリカ)の3つの国際コンクールで立て続けに第1位を獲得した。また、2002年のチャイコフスキー国際コンクールでは上位入賞を果たした。

現在は、世界中で演奏活動を続ける傍ら、モスクワ音楽院で後進の指導にあたっている。



藤井 純子 (チェロ)
Жунко Фужий

5歳よりチェロを始める。伊藤耕司に師事。2001年ロシア・ニューネームズ財団によるモスクワ音楽院チェロ教授ナターリア・シャホフスカヤのマスタークラスを受講。2003年モスクワ音楽院付属カレッジに入学し、2006年一年飛び級し同カレッジを首席で卒業。モスクワ音楽院に入学。2007年ロシア・トリアッティエにおける第11回・音楽演奏家のための国際コンクール 弦楽・チェロ部門にて第3位に入賞。2008年オーストリア・リーツェンにおける国際チェロコンクールにて第3位に入賞。2010年、モスクワ音楽院を一年飛び級し首席で卒業。平成19年度及び平成21年度文化庁新進芸術家海外研修員。



加登 萌々子 (ヴァイオリン)
Момоко Като

4歳より故・福井巖の下でヴァイオリンを始める。都立芸術高校卒業後、モスクワ音楽院へ入学。2010年同音楽院を首席で卒業(「第141回卒業演奏会」で演奏)。2002年国際コンクール「Teacher & Student」(ロシア・モスクワ)、2007年第11回「音楽家のための国際コンクール」(ロシア・トリアッティエ)弦楽・ヴァイオリン部門、2010年「音楽と地球」器楽奏者と作曲家の為の国際コンクール(ブルガリア・ソフィア)ソリスト部門と、3つのコンクールにて優勝。世界中で演奏活動やオーケストラとの共演、セミナーへの参加等をこなし、2011年からは日本を拠点に精力的な活動を続けている。



リユーボフ・ミハイロワ (ドムラ)
Любовь Михайлова

1980年サンクトペテルブルグに生まれた。7歳よりドムラを始める。国際コンクールにおける数多くの受賞を経て、2004年にリムスキー・コルサコフ記念国立サンクトペテルブルグ音楽院を卒業した。現在、ロシアをはじめイギリス、ベルギー、フランス、ドイツ、ポルトガル等世界中でのソロ演奏活動に加え、サンクトペテルブルグでオーケストラのコンサートマスターとしても活躍している。彼女の芸術活動は、「ロシアの民族楽器をもっと多くの人に知ってもらい、演奏を通じて聴衆と喜びを分かち合いたい」という強い思いに支えられている。



アナスタシア・ソゴモニャン (ソプラノ)
Анастасия Согомонян

モスクワに生まれる。モスクワ音楽院を経て、グネーシン記念音楽アカデミーを卒業する。更に、ポリショイ劇場ヤングアーティストプログラムの芸術監督でもある、ドミトリー・ヴドヴィン教授の下で研鑽を積む。

その後、ノーヴァヤ・オペラのメンバーを経て、ボリス・ベヴスナー劇場のソリストをつとめる。



アレキサンダー・ミリューティン (バラライカ)
Александр Милютин

1977年サンクトペテルブルグに生まれる。ムソルグスキー記念サンクトペテルブルグ音楽学校を卒業後、リムスキー・コルサコフ記念サンクトペテルブルグ音楽院へ進んだ。卒業後は、ソリストやアンサンブルのメンバーとして活躍。国際音楽コンクールの入賞歴もある。また、様々なアンサンブルやオーケストラのための編曲をこなし、編曲家としても活発に活動している。

コンサートの情報は、当協会のホームページでもご覧いただけます。

<http://www.imea.or.jp/>